

大区分	観点	観点の説明	評価基準				
			1 ※D（単位取得不可）に該当する	2 ※C（単位取得基準）に該当する	3 ※Bに該当する評価基準を示す	4 ※Aに該当する評価基準を示す	5 ※Sに該当する評価基準を示す
講義	聴き方	重要だと思うポイントや理解できなかったことをメモしながら受講する。	隣の学生と私語をしたり、PCやスマートフォンを操作し、講義を聞いていない。	メモをとらずに単に聞いている。	授業ではメモをとりながら聞いているが、理解できなかったことを解決しないで、そのままにしている。	授業ではメモをとりながら聞き、理解できなかったことを復習や教員への質問で解決する。	授業ではメモをとりながら聞き、理解できなかったことや興味の湧いたトピックに関しては、復習でさらに調べる。
復習	不明点の解決	授業で不明な点を解決する。	授業を聞いていなかったので不明な点がわからない。	授業で不明な点があったが、そのままにしている。	授業で不明な点について、公開された教材の範囲で確認してみる。	授業で不明な点について、教員や友達のアドバイスを受け解決されている。	授業で不明な点について、独力で様々な情報を調査し、解決されている。
	探求	授業で興味の湧いたトピックを探求する。	授業で興味の湧くトピックがない。	興味の湧いたトピックはあったが、そのままにしている。	興味の湧いたトピックについて、インターネットにて探求する。	興味の湧いたトピックについて、専門書や図書館が提供するデータベースによって探求する。	興味が湧いたトピックをMOOCや専門書で体系的に探究する。
グループワーク	意見を聴く	他者の発言を「傾聴」ができる。	相手の意見を尊重せず、自分の考え方や意見を押し付ける。	相手の意見を聞くことができる。	相槌や頷きなど相手の意見を積極的に聞く姿勢がみられる。	相手の意見に関心を持って積極的に注意深く聞くことができ、相手を理解することができる。	聞き手が意見を聞くことにより話し手が自分自身に対する理解を深めることができる。
	クリティカルシンキング	建設的な意見を述べることができる。	自分で考えようとしていない。	情報や人の意見が正しいか考察することができる。	常にエビデンスを意識しながら物事を考察することができる。	自分の思考が偏っていないか内省して考察することができる。	物事を常に多面的に考察することができ、様々な可能性を検証することができる。
	伝える	物事への理解や説明する能力を有している。	事象を説明することができない。	事象を説明することができる。	事象をしっかりと理解したうえで伝えることができる。	事象を自分の言葉で伝えることができる。	事象を相手に応じてわかりやすい言葉や方法で説明することができる。
課題レポート	課題レポート	課題の関連情報の因果関係を理解し、真の原因（本質）を見出すことができる。	課題レポートを提出しない。	課題の本質や関連情報の因果関係を理解し、そこから本質を見出そうと努力している。	課題の本質や関連情報の因果関係を理解し、本質を見出せる。	課題の関連情報の因果関係を理解し、かつ本質を見出した上で、解決の方向性を認識できる。	課題の関連情報の因果関係を理解し、かつ本質を見出した上で、課題を解決できる。
	スケジュール管理	課題レポートを提出するための作業スケジュールを適切に管理できる。	スケジュールの管理ができず、締め切りや発表日の直前に取り組むので、締め切りに間に合わない。	スケジュールの管理ができず、成り行き任せで、なんとか間に合わせている。	締め切りや発表日までに計画的に作業を進めることができるが、もっと時間があればよりいいものができるのと妥協してしまう。	計画的に作業を進め、満足のいく成果物をつくることができる。	計画的に作業を進め、早めに成果物を作り上げて、さらに完成度を高めることができる。